

## 2期目の県議会議員活動 スタート

「県政報告レポート16号」をお届け致します。2月県議会は、4月7日投開票の愛媛県議会議員選挙を控えての開催ですが、57議案を可決、請願6件を不採択としております。ご一読ください。

今回の選挙、私自身（伊予郡選挙区・定員2人）は、無投票で3月29日（告示日）午後5時に当選が決まりました。3月29日朝の出陣式には、多勢の皆さんにご来場いただき励ましていただきありがとうございました。改めて責任の重さを痛感しております。2期目に向けて今まで以上に気を引き締めて議員活動を行って参ります。

平成31年4月吉日  
県議会議員 松下行吉



▲出陣式で決意表明



▲昼食の合間に事務所の前で



▲結果報告会では夫婦で祝福をして頂きました

裏面あり



▲ふれあいホールに集まった皆さん



▲中村知事



▲県政報告をする

## 松下ゆきよし県政報告会

2月25日 中村知事を招いて  
砥部町文化会館に800人超が集まる。



今回、はじめて開いた県政報告会ですが、文化会館ふれあいホールの800席が満席となり、立ち見が出るほど多勢の皆さんに来ていただきました。ありがとうございます。

会は、佐川秀紀後援会長（砥部町長）の挨拶で始まり、山本敏孝顧問（元県議）の励ましの言葉、私の県政報告に続いて、中村知事が、「諦めなければ、道は開ける」と題して自身の体験、政治信条とこれからの県政について語り、最後に平岡文男砥部町議会議員の締め言葉で、1時間超の報告会を終えました。



Vol. 16

〈発行日〉  
平成31年3月25日

# 松下ゆきよし



# 県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉 連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135 TEL (089) 969-3605



▲表紙 大石涼さんの「ファミリー」

砥部町重光にある多機能型事業所ひかり（NPO法人ころころ）が、芸術活動の二環として発刊している「ひかりカレンダー」の一部をご紹介します。

「ひかり」は、「明るく 楽しく 元気よく」をモットーに障がいのある人たちが仕事をし、生活をするための支援を行っています。



▲6月 伊達美津子さんの「あじさい」

# 愛媛県議会定例会(平成31年2月)の概要

2月定例会県議会(第362回愛媛県議会定例会)が、2月21日から3月13日までの21日間の会期で開催されました。可決議案は予算24、条例・規則25、意見書1、その他7です。なお、請願6件を不採択としました。

今回は、県議会議員選挙(3月29日告示、4月7日投開票)を控えているため、正・副議長などの議会内人事はありませんでした。

## 1 当初予算

県の2019年度当初予算は、西日本豪雨からの復興や豪雨への課題に

一般、特別両会計合わせて235億円を計上。そのほか人口減少対策や、地域経済活性化など中村知事の公約を実現するため、重点分野を中心に積極的な予算となっています。

一般会計は6,440億円(対前年当初+213億円)で、ここ10年間で最大の規模です。特別会計と企業会計を合わせた総予算も、9,781億2,000万円(対前年当初+231億800万円)となっています。主な事業を、表3と下記にまとめました。

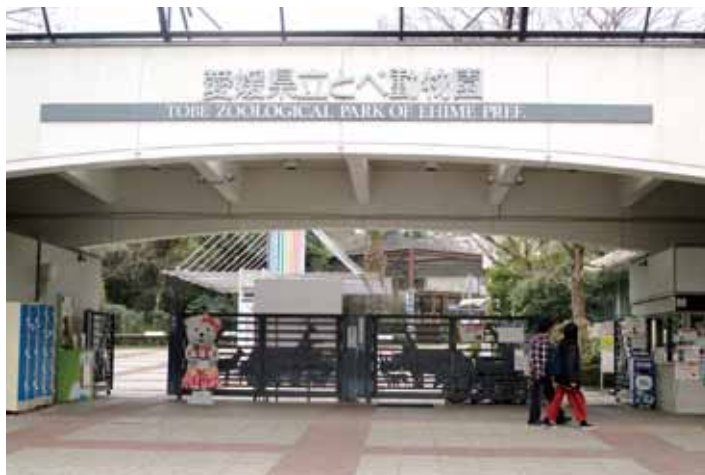
【表1】2019年度 県当初予算の会計別規模 (単位:百万円、▲は減)

会計別	予算額	前年度同期比
<b>一般会計</b>	<b>644,000</b>	<b>▲21,300</b>
災害救助基金	387	366
国民健康保険事業	135,945	▲393
母子父子寡婦福祉資金	315	▲12
中小企業振興資金	16	▲19
農業改良資金	15	▲2
国営農業水利事業負担金	284	▲47
県有林経営事業	219	12
林業改善資金	197	0
沿岸漁業改善資金	51	0
公共用地整備事業	2,138	▲1,265
港湾施設整備事業	14	同
用品調達	306	同
自動車集中管理	15	0
公債管理	129,115	580
奨学資金	328	▲19
<b>計</b>	<b>269,345</b>	<b>800</b>
<b>企業会計</b>		
電気事業	4,211	848
工業用水道事業	1,961	▲647
病院事業	58,603	2,408
<b>計</b>	<b>64,775</b>	<b>2,608</b>
<b>合計</b>	<b>978,120</b>	<b>23,109</b>

※四捨五入のため合計が合わない場合があります。

特別会計

企業会計



とべ動物園入場口付近

①とべ動物園の施設整備と魅力向上  
**対策の強化 3億5,293万円**  
 爬虫類舎などの改修や、アシカ舎の改修(今年12月オープン)をします。動物を購入するとともに、診療手術台など医療機器を整備し受入体制の充実を図ります。また、総合プロデューサーを配置し、イベント開催、園内で多言語対応情報をプッシュ配信するなど魅力向上対策を推進します。

この予算とは別に、園内から年間500トン以上出ている動物の排せつ物や食べ残しを利用した「バイオガス発電」の研究(予算383万円)をします。

## ② 産業技術センターの建設整備

事業期間 2018年9月～2019年6月  
 規模構造 本館RC2F 787.5㎡  
 工房S1F 640.0㎡  
**4億9,500万円**

## ③ えひめチャレンジオフィス(仮称)の設置

障がい者の民間企業等への就労を支援するため、県の非常勤職員(チャレンジ職員)として雇用し、就労経験を積む機会を提供する「えひめチャレンジオフィス(仮称)」を設置します。定員は当初18人ですが、応募状況をみて拡大していきます。

**2,935万円**

【表2】防災・減災強化枠と愛顔枠の前年比較

区分	2019年度		2018年度		増減	
	事項数	事業費	事項数	事業費	事項数	事業費
防災・減災強化枠	51	98億円	47	90億円	4	8億円
諸課題への対応	42	55億円	38	47億円	4	8億円
防災・減災対策事業	9	43億円	9	43億円	0	0億円
愛顔枠	165	58億円	149	44億円	16	14億円

【表3】2019年度当初予算の主な事業

●新規事業、▲大幅増額。単位：万円（端数四捨五入）

西日本豪雨災害への対応	
児童生徒等に対する就学支援や巡回訪問	1億8,000万円
● 戸別受信機設置等の支援による情報伝達手段の強化	1億2,300万円
● 自主防災組織活性化や消防団の広域協力体制構築	2,600万円
▲ 国・県が一体となった肱川水系治水対策の実施	19億2,200万円
防災・減災対策	
▲ 緊急避難道路の整備、河川、海岸、港湾、砂防施設の改修・補強など	43億1,500万円
▲ 自主防災組織の中心的役割を担う防災士養成の加速化	1,568万円
重要度の高いため池（18か所）地震防災対策	3億2,130万円
▲ 県民文化会館の大規模改修	20億3,374万円
松山東警察署設計調査	3,384万円
人口減少対策	
● 子育て応援ファンド（仮称）創設に向けた県民会議の設置	2,523万円
第2子以降の出生世帯に紙おむつ製品購入権（5万円分）を交付	1億4,923万円
● 「あのこの愛媛」を活用した雇用・移住マッチングの促進	4,708万円
● 介護、農林業における外国人材受け入れ促進	3,991万円
地域経済活性化	
商工・観光	
● E-BIKEの普及促進によるサイクリストの裾野拡大	571万円
● とべ動物園の施設整備と魅力向上対策の強化 ①	3億5,293万円
● えひめこどもの城の魅力向上対策の強化	3,820万円
▲ 窯業技術センターの建設整備（今年夏、開所予定） ②	4億9,500万円
▲ G20愛媛・松山労働雇用大臣会合の開催	3,761万円
農林水産業	
▲ JAが行う新規就農者の受け入れ・育成の支援 新規就農者の確保・定着や優良農地を維持するため、担い手対策に前向きに取り組むJAに対し支援を行う。	9,112万円
● 米の新品種「ひめの凜」の生産拡大とブランド確立	1,092万円
● 市町連携による新たな森林管理システムの推進	1億 380万円
土地改良費（公共）	38億6,678万円
医療・福祉・環境	
● 県立中央病院手術室増設（病院事業会計）	2億6,768万円
● 介護分野へのAI・ICTの導入促進	1,172万円
● えひめチャレンジオフィス（仮称）の設置 ③	2,935万円
● 肱川（水力）発電所の更新（電気事業会計）	3億5,000万円
● 気候変動適応計画策定	384万円
教育・文化・スポーツ	
● 県立学校の全普通教室に空調設備を整備	2億2,469万円
▲ 愛媛国際映画祭の開催	4,000万円
▲ 東京オリンピック事前合宿等の誘致・受け入れ	2,503万円
スポーツ専門員を活用した競技力向上対策の推進	3億9,259万円
社会資本整備	
▲ 大洲・八幡浜自動車道の整備促進	25億6,842万円
▲ JR松山駅付近連続立体交差事業 松山駅付近連続立体交差事業の実施期間 2009～2024年度 車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業：実施主体は伊予市、松前町。内容は市町道の拡幅工事など	26億8,185万円



【表4】2019年度県一般会計当初予算の歳入・歳出  
(単位:百万円、▲は減)

款別	予算額	前年度同期比
県税	149,900	1,100
地方消費税清算金	51,142	740
地方譲与税	25,489	1,314
地方特例交付金	1,500	1,000
地方交付税	164,000	1,800
交通安全対策特別交付金	341	▲33
分担金・負担金	3,904	▲243
使用量・手数料	7,299	▲68
国庫支出金	92,317	13,434
財産収入	1,910	13
寄付金	75	▲2
繰入金	19,280	5,079
繰越金	1,500	同
諸収入	61,007	1,662
県債	64,336	▲4,497
うち臨時財政対策債	22,300	▲6,700
計	644,000	21,300
議会費	1,317	10
総務費	96,524	2,685
民生費	98,744	3,799
衛生費	26,348	310
労働費	1,952	▲198
農林水産業費	34,701	▲898
商工費	50,769	392
土木費	59,767	388
警察費	32,005	▲8
教育費	133,464	▲543
災害復旧費	25,015	16,536
公債費	83,345	▲1,173
予備費	50	同
計	644,000	21,300

※四捨五入のため合計が合わない場合があります。



開設に向けて工事が進む業技術センター

## 2 補正予算

30年度の2月補正予算は、表5のとおりです。一般会計では、表6の事業などプラス分として91億2,700万円を計上していますが、一方で国の内示額減少などがあり230億1,200万円を減額しました。企業会計の補正予算はありませんでした。

## 3 条例・規則・意見書、その他

### (1) 条例・規則

可決した条例・規則議案は25件で、うち規則は議員提出の県議会会議規則改正1件です。県議会会議規則に「復旧復興支援対策本部」を加え、同本部

を自治法に規定する議案の審査又は議会の運営に關し協議又は調整を行うための場と位置付けました。

### (2) 意見書、その他

「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興等に關する意見書提出」を決議しました。

その他は、包括外部監査契約の締結や、診療費支払請求権などの権利の放棄、土地改良事業などの負担金の変更についてなどです。

【表5】平成30年度2月補正予算(会計別)(単位:百万円、▲は減)

	補正予算額	累計
一般会計	▲13,885	720,750
災害救助基金特会	999	6,529
国民健康保険事業特会	1,476	137,846
国営農業水利事業負担金特会	▲18	328
公債管理特会	▲1,641	126,894
特別会計の計	816	289,418
企業会計	なし	62,871
総合計	▲13,069	1,073,039

※端数四捨五入

【表6】平成30年度2月補正予算

一般会計(▲138億8,500万円)の内容

増額分	91億27百万円
今治新都市中核施設(岡山理科大学獣医学部)整備費補助金	10億18百万円
国直轄事業の負担金	15億円
災害救助基金特会への繰り出し	9億99百万円
地方消費税交付金	4億31百万円
とべ動物園魅力向上基金積み立て	5億円
大洲市から受託した大成橋整備<<債務負担行為6億1,200万円>>	など
減額分	▲230億12百万円
国内示の減、公債費利子の減等による不用額	

※端数四捨五入

# 2月臨時議会 (2月13日開催)

2月7日に国の補正予算が成立したことを受けて、これに対応した県補正予算を審議、議決しました。そのほかに自動車事故の損害賠償額を決めた専決処分2件の報告がありました。

補正予算の概要は、表7のとおりです。減災・防災対策を中心に一般会計110億8,602万円、企業会計(2会計)4億8,015万円、計115億6,617万円の追加予算化しました。

【表7】2月補正予算(国の補正予算対応)

一般会計	110億8,602万円
防災・減災対策	93億5,889万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路、河川、砂防、港湾、ため池などの防災・減災対策の推進</li> <li>・簡易型河川監視カメラ・水位計の整備、浸水想定区域図等の策定</li> <li>・肱川水系治水対策の10年前倒し実施</li> <li>・県立学校ブロック塀緊急安全対策 など 34事項</li> </ul>	
【国庫債務負担行為 2事項 2億円】	
治山事業や農地防災事業に債務負担行為を設定	
農林水産業の振興	15億2,751万円
・農業基盤の整備、間伐の促進、林道の整備 など 6事項	
県民の安全・安心の確保	1億9,962万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士修学資金等の貸付原資への補助</li> <li>・原子力災害医療体制の強化 など 4事項</li> </ul>	
企業会計	4億8,015万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用水道事業会計</li> <li>工業用水道施設の耐震化 4億3,587万円</li> <li>・病院事業会計</li> <li>県中央病院除染室の設備整備 4,428万円</li> </ul>	
合計	115億6,617万円

【表8】2月一般会計補正予算の歳入内訳

区分	補正予算額
地方交付税	11億 384万円
分担金及び負担金等繰入金	2億5,354万円
国庫支出金	50億3,832万円
寄附金	125万円
諸収入	1,407万円
県債	46億7,500万円
合計	110億8,602万円



今治市菊間町掌禅寺の金龍桜  
(2017年撮影)

▼君に勧む金屈厄／満酌辞するを須いず  
／花発けば風雨多く／人生別離足る  
唐代の漢詩(井伏鱒二訳)です。金屈厄は盃。送別の宴席で謳っているのでしょう。「酒を盃になみなみとついで、

## 編集後記

▼3月は、別れの季節。県議会でも、2月定例議会を最後に村上要氏(社民。当選7回)、大西渡氏(中選3回)、中政勝氏(公明。当選2回)、逢坂節子氏(社民。当選2回)の5人の議員が議場を去ります。3月14日の愛媛新聞に1人を除く4氏のインタビュー記事が載っていました。「引退に悔いなし」「体がついていかない」「もっと取り組みたかった」「難病をもつての議員活動だった」と、様々な思いを語っておられました。党派、主張の違いはありますが、引退し、新しいスタートを切る先輩議員の皆様にごエールを贈ります。

君に勧めるから、飲み干してください。花に嵐の例えもある。さよならだけが人生さ。」といった意味でしょうか。特に、今年「平成」最後の年です。新しい時代に期待を寄せて、一献如何でしょうか。

▼その平成はどんな時代だったか。敢えて一つのことを取り上げるとすれば、ネット社会でしょうか。日本のネット史を見ると、1995(平成7)年に日本版ウィンドウズ95が発売され、1996(平成8)年に検索サイト「ヤフージャパン」がサービスを開始。2008年「ツイッター」「フェイスブック」のそれぞれ日本版サービス開始。2018(平成30)年には「LINE」の国内利用者が7,800万人になっていきます。遠く離れた人たちが同時にやりとりでき、誰もが簡単に情報に触れ、自分の意見を発信できるようになりました。平成の30年間でインターネットはグローバルな社会基盤に発展し、私たちに便利なサービスを提供してくれました。ただ、「便利」ということはそれだけ悪用されやすい側面があります。影の部分も大いにあります。が、使うのは私達です。この便利なツールを使いこなすには、「心」の教育が必要でしょう。平成の次の時代に必要なのは私たちの「倫理観」になるのではないのでしょうか。

# 『ローマ人の物語 ハンニバル戦記(上・中・下)』

著者：塩野 七生 出版：新潮文庫

ここに紹介する3冊の本は、長いローマの歴史の中で特によく知られたポエニ戦争を題材にしています。ポエニ戦争は、紀元前3世紀後半、イタリア半島を統一し勢力を伸ばしていた新興国家ローマと大國カルタゴが、地中海の覇権をめぐる争った歴史上有名な大戦です。紀元前264年のローマ軍によるシチリア島上陸から紀元前146年のカルタゴ滅亡まで百年を超える長い戦いですが、常に戦争をしていた訳ではなく、休戦期もあり3次にわたる戦いとされています。

標題にある「ハンニバル」は、ローマ史上最強の敵と言われたカルタゴの猛将で、第二次ポエニ戦争(紀元前218年〜前201年)の主役です。象を伴ってアルプスを越えイタリアに侵入。各地の戦場で、知略と戦術を駆使してローマ軍を蹴散らし、強大な経済力と軍事力に加えてハンニバルという稀代の名将までいたカルタゴが、何故ローマに敗れたのか、と言うよりも何故ローマは百年もの長きにわたり持ちこたえることができたのか。国のシステム、人材、軍と政治のかかわりなど、本書の中から読み解いてください。

ローマは、カンナエの戦いでハンニバルに大敗を喫しますが、同盟都市との結束は固く、徐々に勢力を回復、「ザマの会



戦」でローマの若き武将スキピオがハンニバルを破りポエニ戦争の趨勢が決まります。著者は若きスキピオを、最後まで好意的に書いており、元老院の第一人者ファビウスに疎まれるスキピオに対して、こんなことを書いて応援しています。「年齢が頑固にするのではない。成功が、頑固にする。：抜本的な改革は、優れた才能を持ちながらも、過去の成功に加担しなかつた者によってしか成されない。しばしばそれが若い世代によって成しとげられるのは、若いゆえに、過去の成功に加担していないからである」このあたり大変歯切れがよく、一気に読み進んでいけます。ただ、作品全体としては記述の根拠が薄く、著者の感想といった感がぬぐえませんが、歴史書ではなく、歴史小説として楽しむことをおすすめします。

## ◎塩野七生(しおのななみ)

1937(昭12)年東京市滝野区(現東京都北区)生まれ。歴史作家、小説家。1963年(昭38)からイタリアに遊びつつ学び、1968年に帰国してから執筆を開始する。ローマ人の物語は、1992年(平4)に第1巻が刊行され2006(平18)年12月刊行の15作目で完結。2002年から新潮文庫で文庫化(全43冊)されている。

(文中敬称略)



愛媛県議会議員

松下 行吉

まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口135

TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606

Email matsushita31@iyo.ne.jp

<http://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>